

研究研修・調査

政務活動費収支報告明細書

実績報告書 No. 005	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	令和5年 10月 11日 から 10月 13日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	令和5年度全国都市問題会議(第85回)			
		八戸市公会堂・公会堂文化ホール 青森県八戸市内丸1丁目1-1			
	参加者	4人			
		さかえ章演、若杉たかし、日比野和雄、陣矢幸司			
経費	研究研修費	270,720円	調査旅費	0円	
実績報告書 No. 005	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	令和5年 10月 11日 から 10月 13日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	令和5年度全国都市問題会議(第85回)			
		八戸市公会堂・公会堂文化ホール 青森県八戸市内丸1丁目1-1			
	参加者	3人			
		谷口武司、秋田さとし、安田吉宏			
経費	研究研修費	206,753円	調査旅費	0円	
実績報告書 No. 3	項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)			
	期間	令和6年 1月 25日 から 1月 26日まで			
	研究研修名 ・ 場所等	熊本県 玉名市役所 玉名市岩崎163			
		熊本県 益城町復興まちづくりセンター 上益城郡益城町大字宮園702			
		熊本県 益城町役場 上益城郡益城町大字宮園702			
	参加者	4人			
陣矢幸司、谷口武司、秋田さとし、安田吉宏					
経費	研究研修費	0円	調査旅費	183,891円	
項目別合計 (最終ページに記載)		研究研修費	477,473円	調査旅費	183,891円

研究研修・調査

政務活動費実績報告書

実績報告書 No.005

項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)	
期間	令和5年10月11日 から 10月13日まで	
研究研修名	令和5年度全国都市問題会議(第85回)	
場所等	八戸市公会堂・公会堂文化ホール 青森県八戸市内丸1丁目1-1	
参加者	4人 さかえ章演、若杉たかし、日比野和雄、陣矢幸司	
研究研修・調査の項目		
テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」		
第1日 10月12日(木)		
09:30 開会式		
09:50 基調講演 東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克彦氏		
11:00 主報告 青森県八戸市長 熊谷 雄一氏		
13:10 一般報告 文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美氏		
14:30 一般報告 長野県東御市長 花岡 利夫氏		
15:30 一般報告 (株)鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木 秀樹氏		
第2日 10月13日(金)		
09:30 パネルディスカッション		
[コーディネーター] 東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理氏		
[パネリスト] 合同会社imajimu代表取締役 今川 和佳子氏、拓殖大学商学部教授 松橋 崇史氏、静岡県沼津市長 頼重 秀一氏、京都府綾部市長 山崎 善也氏		
11:30 閉会		
摘要	金額	備考
交通費(公共交通機関)	126,400 円	航空機代31,600円/人×4人分
交通費(レンタカー等)	24,180 円	レンタカー代22,200円、ガソリン代1,980円
道路通行料等	5,590 円	通行料3,590円、駐車場代2,000円(名古屋空港)
宿泊費	74,000 円	2泊分18,500円/人×4人分
会費(出席者負担金)	40,550 円	会議参加費10,000円/人×4人分、振込手数料550円
計	270,720 円	

《内容及び今後の活用計画は裏面記載》



内 容
別紙参照
今後の活用計画

第85回全国都市問題会議

◇10月11日（水）

参加者：さかえ章演、若杉たかし

日比野和雄、陣矢幸司

時刻			移動手段	金額		時間
9:25		尾張旭市役所集合				
9:30	発	尾張旭市役所			移動等	0:05
		↓	自家用車			
10:00	着				移動	0:30
11:25	発	県営名古屋空港			乗換	1:25
		↓	FDA363	15,800円		
12:45	着				移動	0:30
13:15	発	青森空港			乗換	0:30
		↓	レンタカー	428円		
			(青森中央IC~八戸北IC)	(1,710円)		
15:30	着	宿泊地			移動	2:15
			運賃計	16,228円		

※前泊は、当日開催時間に到着する手段がないため

宿泊先 ホテルルートイン本八戸駅前

青森県八戸市内丸1丁目5 1

0178-71-2511

◇10月12日（木）

参加者：さかえ章演、若杉たかし

日比野和雄、陣矢幸司

時刻			移動手段	金額		時間
9:00		ホテルロビー集合				
9:05	発	宿泊地			移動等	0:05
		↓	徒歩(7分)			
9:15	着				移動	0:10
9:30	発	八戸市公会堂	開会式		滞在	0:15
9:50			基調講演		滞在	0:20
11:00			主報告		滞在	1:10
12:00		↓	昼食		滞在	1:00
13:10			一般報告		滞在	1:10
16:30			終了		滞在	3:20
16:40	発					0:10
		↓	徒歩(7分)			
16:50	着	宿泊地			移動	0:10
			運賃計	円		

宿泊先 ホテルルートイン本八戸駅前

青森県八戸市内丸1丁目5 1

0178-71-2511

第85回全国都市問題会議

◇10月13日 (金)

参加者：さかえ章演、若杉たかし

日比野和雄、陣矢幸司

時刻		移手段	金額		時間
9:00	ホテルロビー集合				
9:05	発	宿泊地			0:05
		↓			
		徒歩(7分)			
9:15	着			移動	0:10
11:50	発	八戸市公会堂	パネルディスカッション	9:30~11:50	滞在 2:35
		↓			
		レンタカー	470円	移動	
		(八戸北IC~青森中央IC)	(1,880円)		
		レンタカー代 (22,200円)	5,550円		
		ガソリン代 (1,980円)	495円		
14:05	着			移動	2:15
15:00	発	青森空港	FDA2366	15,800円	滞在 0:55
		↓			
16:25	着			移動	1:25
17:00	発	県営名古屋空港	駐車場代 (2,000円)	500円	乗換 0:35
		↓			
		自家用車			
				移動	0:30
17:30	着	尾張旭市役所			
		運賃計	22,815円		

※ホテルの駐車場は、無料

※飛行機・レンタカーを利用しているのは、電車と比べ費用が抑えられるため。

※レンタカーを3日間連続で借りているのは、時間貸・乗り捨てで借りるより、費用が抑えられるため。

運賃	39,043円
宿泊料	18,500円
会議参加費	10,000円
振込手数料	138円 (550円)
合計	67,681円

合計

4人分

¥ 270,722

手配代金

1,100円 政務活動費での支払い実績なし

全国都市問題会議 実施報告書

●内容(日程)について

R5 10月12日(木)

- 1 基調講演 アートの役割って何だろう? 東京藝術大学長 日比野克彦
- 2 主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり 青森県八戸市長 熊谷雄一
- 3 一般報告
 - ①まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる
文化事業デレクター 吉川由美
 - ②標高差1500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
長野県東御市長 花岡利夫
 - ③まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用
(株)鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木秀樹

R5 10月13日(金)

パネルディスカッション

【テーマ】文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展

- コーディネーター 東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林真理
- パネリスト 合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子
拓殖大学商学部教授 松橋崇史
静岡県沼津市長 頼重秀一
京都府綾部市長 山崎善也

●研修会テーマについて (文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展)

- 文化芸術は、古来より人々の生活に密接に関わってきた。文化芸術は豊かな人間性を育て、創造力や感性を育み、コミュニティのアイデンティティを形成する精神的支柱。スポーツは、身体活動を通じて心身両面の健康促進や、克己心やフェアプレー精神を培ってきた。
- そして今日では、文化芸術は個人の生活にハリと潤いを、人生を豊かにするだけでなく、人口減少、地域コミュニティの衰退、経済格差増大など数多くの課題に直面している都市にとってこれらの課題克服に有力な処方箋になりうる。また、各都市に固有のアイデンティティを形作り、都市の魅力創出や魅力づくりの基盤となりうる。
- これらのテーマを基に、東京藝術大学の日比野克彦学長からは、基調講演ではアートの役割について①アートとは生きる力②アートとは多様性ある社会を築く基盤③アートは社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものという説明があっ

た。

- パネルディスカッションでの小林教授の冒頭の発言では、国は、文化も観光の振興と地域の活性化に資するという発想を重視し、日本全国の多様な文化に注目した拠点計画、地域計画を実施している。
- 文化領域が観光・まちづくりへと、空間的、境界を越えて展開されるようになってい
る。
- ようやく文化の価値が広く認められ、不可欠な公共サービスとして再認識されてきたなどの説明があった。

●テーマの成功事例について

【八戸市】

- 今テーマを基に、文化芸術とスポーツの分野で都市の魅力や発展で注目すべき成功事例の説明がなされた。
- 特に印象的だったのが会場の八戸市。
- 熊谷雄一八戸市長はじめ、吉川由美文化事業ディレクターや東京から八戸にUターンし、八戸市の「八戸ポータルミュージアムはっち」嘱託職員となった今川和佳子コーディネーターからこれまでの様々な取り組みの紹介があった。
- 八戸市はこの10年近くに、「八戸ブックセンター」「八戸まちなか広場マチニワ」「八戸市美術館」などの公共施設が徒歩圏内に続々と整備された。
- すべてが個性的な事業で、地域との連携がなされ、にぎわいと話題を呼んでいる。
- その先鞭となったのが、これらの少し前にオープンした「八戸ポータルミュージアムはっち」（通称はっち）。これは中心市街地活性化の起爆剤として位置づけた事業だ。
- はっちは、観光、ものづくり、食文化、祭礼と芸能、風俗、自然、子育て、市民活動、シアター、スタジオ、アーティスト・イン・レジデンス、コミュニティFMなど様々な情報のショーケースでありつつ、市民を主体とする活動拠点だ。
- 八戸の営みをビジターが知り疑似体験できる施設でもある。主体的に関わる人、当事者が増えれば街が豊かになり活気が出てくることに大きく貢献している。
- また、文化芸術だけでなく、スポーツでも「氷都八戸」に象徴されるようにスケートはじめ、サッカー、バスケットなどのプロスポーツチームを推しにしたまちづくりにも成功している。
- 八戸市長は、文化・スポーツは他者と交わり、外へ開いていく性質を持つものであるの
で、開かれたまちづくりにはピッタリと言及された通り、八戸の市の各種事業は、今回の
テーマである「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」を具現化した参考
にすべき成功事例だと感じた。

その他の事例

【長野県東御市】

- 長野県東御市では、「標高 1500mの地勢を活かしたスポーツツーリズムの創出」では、「標高差のある街」「平地が少ない土地」などの欠点とされていたことを個性に変え「ワインの醸造」や「高地トレーニング施設」を生み出している。

【鹿島アントラーズ】

- (株)鹿島アントラーズFC取締役副社長の鈴木秀樹氏からは、「まちづくりにおける、プロスポーツクラブの有効活用について」をテーマにした話があり、プロスポーツは地域に潤いや豊かさを与え、共に稼ぐパートナーとの説明があった。
- 鹿島アントラーズのホームタウン5市の行政職員が一人ずつ交代でクラブに出向し、進化した仕事のやり方を覚えたり、最先端の地域医療や食育を鹿島アントラーズの選手と共に住民にも提供するなど、様々な共生発展の仕組みができています。
- 鹿島アントラーズは、カシマスタジアムを常に進化するプラットホームにすべく、まちづくりの核とするための青写真を自治体と共に描き、まちの発展と共にスタジアムに様々な機能を加味していく「終わりのない開発」を目指している。

【静岡県沼津市】

- スポーツを活用したまちづくりの成功事例。フェンシング、Jリーグ、バレーボール、サイクリングなどプロスポーツが楽しめるまちとして、トップアスリートの直接の指導による競技力向上や新たな才能の発掘、スポーツ人口の拡大に取り組んでいる。
- また、アニメ「ラブライブ！サンシャイン！！」を活かした街づくりなどスポーツ・アニメを通じ、地域資源の掘り起こしや沼津の魅力発信に取り組んでいる。

【京都府綾部市】

- 文化芸術とスポーツの所管を教育委員会から市長部局に移管し「市民1人1文化」「市民1人1スポーツ」の推進により文化のかおるまちづくりやスポーツの力で人とまちの活性化都市の交流を目指している。
- 文化では「合唱のまち・綾部」を持続的に推進し、多くの合唱グループが生まれた。
- スポーツでは、自治会対抗ソフトボール大会や市民駅伝競走大会など地域に根差したスポーツ大会やカヌー、トレッキングなど豊かな自然を活用したスポーツ観光の推進、スポーツによるまちづくりを推進している。

●今後の活用計画

- 当市では、県民の日学校ホリデーの企画として、小学校を対象としたスポーツイベントを実施する予定だ。
- イベント内容は、中日ドラゴンズOBを招いてストラックアウトなどを競って楽しむ企画や、名古屋オーシャンズによるフットサル教室などを通じて第1線で活躍する選手と交流を図ろうと企画を組んでいる。

- 今回の研修会での成功事例を参考に、今後もプロスポーツチーム等と連携協力を深めて、子どもたちの教育やまちの活性化や魅力につなげていきたい。
- また紅茶グランプリを含めた、紅茶のまちづくりを生かしたさらなる工夫や地元の名古屋産業大学との連携した文化芸術・スポーツを核にした当市の魅力発信も検討していきたい。
- また、当市の「平子の森」の広大な敷地を文化芸術・スポーツの森として有効活用ができないかも課題の一つとして調査研究をしたい。
- その際には、今回の研修で学んだ
 - ①まちの根っこにあるのは文化である。
 - ②文化芸術・スポーツでの活力ある政策は、関わる人の活力により成り立つ
 - ③地域の欠点を個性に変える発想を持つこと
 - ④プロスポーツチームとの協働は、チームも地域も発展するこの4点を念頭に置きながら様々な事業に取り組んでいきたい。

請求書

発行日 2023年09月11日
 予約番号 HG-125294
 請求番号 HG-00084287
 名鉄観光サービス株式会社
 名古屋伏見支店
 支店長 杉浦
 〒460-0008
 愛知県名古屋 10番19号
 (名古屋商工
 TEL:052-211-2315 FAX:052-211-2420

陣矢 幸司 様

ご請求額 ¥56,750.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

内容 日比野様 八戸

責任者	担当者
[Redacted]	[Redacted]

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
23/09/11	宿泊代金 2泊分	ホテルクレートイン本八戸駅前		9,250	2	18,500
	航空券代金	FDA 小牧<=>青森		31,600	1	31,600
	レンタカー代	トヨタレンタカー		5,550	1	5,550
	手配料金			1,100	1	1,100
		◎10%対象				(56,750)

お振り込みは、下記口座へ2023年09月11日までをお願いします。
 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。

合計 (A)	56,750
ご入金済額 (B)	0
今回請求額 (A)-(B)	56,750

振込先	メイテツカンコウサービス (カ)
-----	------------------

備考	
----	--

請求書

発行日 2023年09月11日

予約番号 HG-125294

請求番号 HG-00084284

名鉄観光サービス株式会社

名古屋伏見支店

支店長 杉浦秀

〒460-0008

愛知県名古屋市伏見区伏見 0番19号

(名古屋商工会

TEL:052-211-2315 FAX:052-211-2420

日比野 和雄 様

ご請求額 ¥56,750.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。
下記の通りご請求申し上げます。

内容 日比野様 八戸

責任者

担当者

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額	
23/09/11	宿泊代金 2泊分	ホテルルートイン本八戸駅前		9,250	2	18,500 ◎	
	航空券代金	FDA 小牧<=>青森		31,600	1	31,600 ◎	
	レンタカー代	トヨタレンタカー		5,550	1	5,550 ◎	
	手配料金			1,100	1	1,100 ◎	
		◎10%対象				(56,750)	
お振り込みは、下記口座へ2023年09月11日までにお願いします。 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。						合計 (A)	56,750
						ご入金済額 (B)	0
						今回請求額 (A)-(B)	56,750

振込先

メイテツカンコウサービス (カ

備考

請求書

発行日 2023年09月11日
 予約番号 HG-125294
 請求番号 HG-00084285
 名鉄観光サービス株式会社
 名古屋伏見支店
 支店長 杉浦秀
 〒460-0008
 愛知県名古屋市 番19号
 (名古屋商工会
 TEL:052-211-2315 FAX:052-211-2420

さかえ 章演 様

ご請求額 ¥56,750.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。
 下記の通りご請求申し上げます。

内容 日比野様 八戸

責任者	担当者

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額
23/09/11	宿泊代金 2泊分	ホテルルートイン本八戸駅前		9,250	2	18,500 ◎
	航空券代金	FDA 小牧<=>青森		31,600	1	31,600 ◎
	レンタカー代	トヨタレンタカー		5,550	1	5,550 ◎
	手配料金			1,100	1	1,100 ◎
		◎10%対象				(56,750)
お振り込みは、下記口座へ2023年09月11日までにお願いします。 振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。						合計 (A) 56,750
						ご入金済額 (B) 0
						今回請求額 (A)-(B) 56,750

振込先
 メイテツカンコウサービス (カ

備考

請求書

発行日 2023年09月11日

予約番号 HG-125294

請求番号 HG-00084286

名鉄観光サービス株式会社

名古屋伏見支店

支店長 杉浦秀

〒460-0008

愛知県名古屋市

0番19号

(名古屋商工会

TEL:052-211-2315 FAX:052-211-2420

若杉 たかし 様

ご請求額 ¥56,750.-

毎度お引立ていただきありがとうございます。

下記の通りご請求申し上げます。

内容 日比野様 八戸

責任者

担当者

利用日	項目名	内容	単位	単価	数量	金額	
23/09/11	宿泊代金 2泊分	ホテルルートイン本八戸駅前		9,250	2	18,500 ◎	
	航空券代金	FDA 小牧<=>青森		31,600	1	31,600 ◎	
	レンタカー代	トヨタレンタカー		5,550	1	5,550 ◎	
	手配料金			1,100	1	1,100 ◎	
		◎10%対象				(56,750)	
お振り込みは、下記口座へ2023年09月11日までにお願いします。						合計 (A)	56,750
振込手数料はお客様ご負担にてお願いいたします。						ご入金済額 (B)	0
						今回請求額 (A)-(B)	56,750

振込先

メイテツカンコウサービス (カ

備考

領収証

HG-00067501
発行日 2023/09/12

若杉たかし 様

金額 ¥56,750.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、10/11 青森行 旅費として

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

- 現金
小切手
振込 56,750円
クレジット
その他()

責任者印	領収者印

HG-125294

領収証

HG-00067497
発行日 2023/09/12

日比野和雄 様

金額 ¥56,750.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、10/11 青森行 旅費として

名鉄観光サービス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

- 現金
小切手
振込 56,750円
クレジット
その他()

責任者印	領収者印

HG-125294

領収証

HG-00067498
発行日 2023/09/12

陣矢幸司 様

金額 ¥56,750.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、10/1 青森行 旅費として

名鉄観光サ―ビス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

印 紙 税 申 告 納
付につぎ名古屋中村
税務署 承認 済

- 現金
小切手
振込 56,750円
クレジットカード
その他 ()

責任者印	領収者印

HG-125294

領収証

HG-00067499
発行日 2023/09/12

さかえ章演 様

金額 ¥56,750.-

上記金額を正に領収いたしました
但し、10/1 青森行 旅費として

名鉄観光サ―ビス株式会社
(本社所在地)
名古屋市中村区名駅南二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル8階)

領収者印、責任者印のないもの及び訂正したものは無効です。

印 紙 税 申 告 納
付につぎ名古屋中村
税務署 承認 済

- 現金
小切手
振込 56,750円
クレジットカード
その他 ()

責任者印	領収者印

HG-125294

会議参加費 領収書

日比野 和雄 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9 月 20 日

第85回全国都市問題会議実行
会長 熊谷 雄



会議参加費 領収書

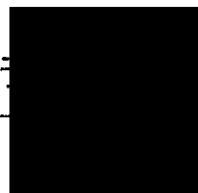
陳 幸司 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9 月 20 日

第85回全国都市問題会議実行
会長 熊谷 雄



会議参加費 領収書

土かえ亭 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9 月 20 日

第85回全国都市問題会議実行
会長 熊谷 雄一



会議参加費 領収書

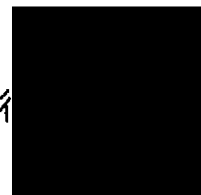
若柳たかし 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9 月 20 日

第85回全国都市問題会議実行
会長 熊谷 雄一



ご利用明細

三菱UFJ銀行

ご利用明細は、ご利用の履歴を記載しております。

ご利用明細は、ご利用の履歴を記載しております。

年月日	取引店番	お取引内容	
050920		お振り込み	
送付通貨	銀行番号	支店番号	口座番号
*****	*****	*****	*****
お取引金額	¥40,000*		
お振込み でござい場合	残高		
内	19	総計	¥50*
カ) JTB様			
00134オクリアサヒ様			
ヨク05.09.21			

送付通貨 銀行番号 支店番号 口座番号



貸渡料金精算明細書 (兼 ご請求書)

Rental Agreement

お客様控

貸渡人 株式会社トヨタレンタリース青森

青森空港店
青森市大字大谷字小谷1-14

RA610R
発行年月日: 令和 5年10月13日
貸渡N. : 7470385

電話番号017-739-0115

借受人 名称 住所
<クーポン有>ヒビノ カズオ 様

項目	予定料金	精算料金
基本料金	22,200	22,200
カード割引額(0%)	0	0
その他割引額(0%)	0	0
*	0	0
小計	22,200	22,200
免責補償料	ご加入	ご加入
特別装備料	0	0
添付品料金	0	0
ワンウェイ料金	0	0
燃料料代		1,980
引取配車料	0	0
ご利用額	22,200	24,180
リース無償代車		0
NOC		0
免責実費料		0
お支払額	22,200	24,180
予約金	0	0
船乗車券	22,200	22,200
当日預り金	0	0
預り金合計	22,200	22,200
マイル・ポイント利用	0	0
ご請求金額	0	1,980

<お貸しする車両>

貸渡車両 軽SUV 燃料 ガソリン
登録N. 青森 501わ2290

料金クラス C2-K 車両クラス C2-K

<ご利用内容>

	予定貸渡	貸渡	メーター(Km)
着	10月13日14時00分	10月13日13時54分	37,668
発	10月11日12時45分	10月11日12時45分	37,438
利用分	2日 1時間15分	2日 1時間09分	230

料金種別 その他 料金割引率 0%

添付品

乗車人数 4名

返却営業店舗 青森空港店 017-739-0115 返却府県 県内

運転者氏名 日比野 和雄 R8.1.20 様

株式会社 トヨタレンタリース青森
登録番号: T3420001001555

今回ご利用額	1,980円
10%対象	1,980円 内消費税 180円

TOYOTA Rent a Car

トヨタレンタカー予約センター

0800-7000-111 無料

<http://rent.toyota.co.jp>

この請求金額内訳	現金	1,980

領 収 書		領収書N. 0169931
ヒビノ カズオ 様	Receipt	令和 5年10月13日
領収金額 1,980 円	現金・小切手 1,980 円	収入印紙
	クレジット 0 円	
	交通系IC 0 円	
<p>トヨタレンタカーをご利用いただき、誠に有り難うございます。 ご利用料金として上記金額を正に領収いたしました。 (なお、扱者印無きもの、又は金額訂正したものは無効です)</p>		
<p>営業店舗 青森空港店 住 所 青森市大字大谷字小谷1-14 電話番号 017-739-0115</p>		扱者印
<p>株式会社トヨタレンタリース青森 本社 青森県青森市新田二丁目6番4号</p>		

Toyota Rent-a-Car is an official rental car partner of Hertz. Should you have any questions regarding this Rental Agreement/Receipt, please do not hesitate to ask the Toyota rental counter staff, or contact your home country's Hertz Customer Service Center. Thank you for renting from Toyota and Hertz.

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 浪岡

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月11日15時59分

車種 普通

通行料金 ¥470-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 青森

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号202-02591549-00

ご利用ありがとうございました。

領 収 書

みちのく有料道路

23年10月11日 車種 普通

通行料金 ¥860-

現金 ¥860-

(内税10%対象額 ¥860-)

2118 - L⁰ - 57136

料金所では一旦停止してください。

青森県道路公社

登録番号 T9-4200-0500-0647

ご利用ありがとうございます。

青森県道路公社

料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 下田本線

0178-56-5018

23年10月11日17時13分

車種 普通

通行料金 ¥220-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

青森県道路公社

青森市新町2丁目4-1

登録番号: T9420005000647

取扱番号2160-01-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 八戸北

NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024

または
03-5308-2424

23年10月11日17時19分

車種 普通

通行料金 ¥160-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 下田本線

ETCなら小銭不要。各種割引もあります。

便利でお得なETCをぜひご利用下さい。

東日本高速道路株式会社

東京都千代田区霞が関3-3-2

登録番号: T9010001095716

取扱番号211-00201713-00

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 青森中央
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日13時34分
車種 普通

通行料金 ¥420-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 青森中央本線
ETCなら小銭不要。各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
登録番号:T9010001095716
取扱番号209-00181332-00

ご利用ありがとうございました。

領収書

みちのく有料道路

23年10月13日 車種 普通
通行料金 ¥860-
現金 ¥860-
(内税10%対象額 ¥860-)

2118 - L04 - 02533

料金所では一旦停止してください。

青森県道路公社

登録番号 T9-4200-0500-0647

ご利用ありがとうございます。



青森県道路公社
料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 下田本線
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日12時39分
車種 普通

通行料金 ¥220-

※通行料金の消費税率は10%です

現金

青森県道路公社
登録番号:T9420005000647
取扱番号203-05310000-00

ご利用ありがとうございます。



青森県道路公社
料金所では一旦停車してください。

領収書

料金所 下田本線
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日12時39分
車種 普通

通行料金 ¥160-

※通行料金の消費税率は10%です

現金

—入口料金所— 八戸北
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
登録番号:T9010001095716
取扱番号203-05311228-00

ご利用ありがとうございました。

領収書

青森空港有料道路

23年10月13日 車種 普通
通行料金 ¥220-
現金 ¥220-
(内税10%対象額 ¥220-)

4092 - L04 - 38622

料金所では一旦停止してください。

青森県道路公社

登録番号 T9-4200-0500-0647

県営名古屋空港駐車場

領収書

精算機 #02	A 精算No.000076
発券機 #02	発券No.072239
入庫時刻	2023年10月11日(水) 10:13
出庫時刻	2023年10月13日(金) 16:34
駐車時間	2日 6:21
駐車料金	G料金 2,000円
店002	1枚 G料金
=====	
合計	2,000円
現金領収額	2,000円
お預り	2,000円
お釣り	0円

またのご利用をお待ちしております。
合計は消費税率10%対象です。
登録番号 T6180001031780
TEL 0568-29-1600

研究研修・調査

政務活動費実績報告書

実績報告書 No.005

項目	研究研修費・調査旅費 (該当する項目を○で囲む)		
期間	令和5年10月11日 から 10月13日まで		
研究研修名	令和5年度全国都市問題会議(第85回)		
場所等	八戸市公会堂・公会堂文化ホール		
	青森県八戸市内丸1丁目1-1		
参加者	3人 谷口武司、秋田さとし、安田吉宏		
研究研修・調査の項目			
テーマ「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」			
摘要	金額	備考	
経 費 内 訳	会場使用料	円	
	講師料	円	
	交通費(公共交通機関)	100,800 円	航空費53,400円(県営名古屋空港→青森) 航空費47,400円(青森→県営名古屋空港)
	交通費(タクシー)	円	
	交通費(レンタカー等)	23,323 円	レンタカー代19,960円(3日間)、 ガソリン代3,363円
	道路通行料等	3,880 円	有料道路(八戸北IC~青森空港)1,880円 県営名古屋空港駐車場代(3日間)2,000円
	宿泊費	43,800 円	14,600円(2泊)×3名
	会費(出席者負担金)	30,000 円	参加費10,000円×3名
	旅行業務取扱料金	4,950 円	宿泊先、航空券発券550円×3名 レンタカー手配1,100円×3名
計	206,753 円	1人当たり68,917.66...円	

《内容及び今後の活用計画は裏面記載》



内 容 _____
別紙1の通り
今後の活用計画 _____
別紙1の通り

全国都市問題会議

◇10月11日（水）1日目

時刻		移動手段	金額		時間
9:00	発	尾張旭市役所			移動等
		↓			
9:45	着		自家用車		移動 0:45
11:25	発	県営名古屋空港			乗換 1:40
		↓	アズトリームエアライン363便	53,400円	
12:45	着				移動 1:20
13:30	発	青森空港	(リックスソーカー・SAクラス)	19,960円	乗換 0:45
		↓	レンタカー		
16:30	着				移動 3:00
		宿泊地			

◇10月12日（木）2日目

時刻		移動手段	金額		時間
8:00	発	宿泊地			
		↓	レンタカー		
	着				
8:30	発	YSアリーナ八戸			移動 0:30
		↓	徒歩		
9:00	着				移動 0:30
9:30		八戸市公会堂			
			第85回全国都市問題 会議（1日目）		滞在 7:00
16:30	発				
		↓	徒歩		
17:00	着				移動 0:30
17:00	発	YSアリーナ八戸			
		↓	レンタカー		
17:30	着				移動 0:30
		宿泊地			

全国都市問題会議

◇10月13日(木) 3日目

時刻		移動手段	金額		時間
8:00	発	宿泊地			
		↓	レンタカー		
8:30	着			移動	0:30
8:30	発	YSアリーナ八戸			
		↓	徒歩		
9:00	着			移動	0:30
9:30		八戸市公会堂			
			第85回全国都市問題 会議(2日目)	滞在	7:00
12:00	発				
		↓	徒歩		
12:30	着			移動	0:30
12:30	発	YSアリーナ八戸		有料道路	
		↓		1,880円	
14:30	着		レンタカー	ガソリン代	移動 2:00
15:00	発	青森空港		3,363円	
		↓	ソドリーエアライン2366便	47,400円	
16:25	着				移動 1:25
17:00	発	県営名古屋空港		駐車場代	
18:00	着	↓	自家用車	2,000円	移動 1:00
		尾張旭市役所			

宿泊先 ホテルテトラ八戸

青森県八戸市尻内町八百刈23-1 (TEL: 0178-27-0088)

14,600円(2泊朝食付) × 3名 = 43,800円

会議参加費

10,000円 × 3名 = 30,000円

運賃 128,003円

宿泊料 43,800円

旅行業務取扱料金 4,950円

会議参加費 30,000円

合計 206,753円

一人当たり 68,918円

航空機・レンタカーを使用した方が、新幹線を使用するより、安価で移動時間も短縮できるため。当日移動は時間的に困難であるため前泊した。

実績報告書及び今後の活用計画

日時 令和5年10月12日(木)、13日(金)

場所 八戸市公会堂・公会堂文化ホール

研究内容 10月12日

- ・基調講演 アートの役割って何だろう？
東京藝術大学長、アーティスト 日比野 克彦
- ・主報告 八戸市の文化・スポーツによるまちづくり
青森県八戸市長 熊谷 雄一
- ・一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化政策から育まれる
文化事業ディレクター、演出家 吉川 由美
- ・一般報告 標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出
長野県東御市長 花岡 利夫
- ・一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用
株式会社鹿島アントラーズFC取締役副社長 鈴木 秀樹

10月13日

- ・パネルディスカッション
「テーマ」 文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展
「コーディネーター」 東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林 真理
「パネリスト」 合同会社 imajimu 代表取締役 今川 和佳子
拓殖大学商学部教授 松橋 崇史
静岡県沼津市長 頼重 秀一
京都府綾部市長 山崎 善也

第85回全国都市問題会議(以後本大会)が令和5年10月12日(木)及び13日(金)

に青森県八戸市において開催され、全国から1,800名の首長はじめ市職員、議員が集結

し講演や一般報告、パネルディスカッションが行われた。令和あさひから谷口武司、安田吉宏、秋田さとしが参加し、文化・スポーツが生み出す都市の魅力と発展についてを学びに行った。

まず初めに、基調講演では、「アートの役割って何だろう？」では、東京藝術大学長でありアーティストの日比野 克彦氏が登壇されアートが人に及ぼす機能、可能性を改めて考え、現代社会の中での人に対してのアートの働きかけを3つのとらえ方で分析から始まった。

1つ目として、アートとは、「生きる力」 アートに欠かせないのがイメージする力、想像力。人が人らしく生きていくためにとても重要な役割を持っている。

2つ目として、アートとは、「多様性ある社会を築く基盤」 現代の社会において、多様性の価値観への眼差しが次世代の大きなテーマとなっている。他者との違いがその人の個性になるというアートの価値観は、多様な価値観の存在を認識できるフィールドになるような気がする。

3つ目では、アートとは、「社会的な課題に対して持続的に取り組み続けていくには大切なものである」人の心を動かすことはアートの機能、役割、特性ともいえる。様々な社会的課題は項目別に単独で別々の原因だけで起こっていることではなく、共通しているものがある。こころに作用するところにアートが機能してくる場面があるのではないか。

大きな力が世界を動かすのではなく一人一人の小さいけれども、確実にある、すこしずつ

異なった多様な想いが、時代を変化させていくような気がするということです。

・一般報告 まちづくりの活力は地域に根ざした文化施策から生まれる

文化事業ディレクター/演出家 吉川 由美氏

まちのリノベーションと「はっち」の誕生

八戸市は、中心街再生の起爆剤とすべく、「八戸ポータルミュージアムはっち」を2011年2月に開館させた。はっちは、観光、地域資源、ものづくり、食文化、祭礼と芸能、風俗、自然、子育て、市民活動、シアター、スタジオ、アーティスト・イン・レジデンス、コミュニティFM など、多様な情報のショーケースでありつつ、市民を主体とする様々な活動の拠点である。八戸市職員のみなさんは、アート力で中心市街地を再生していこうという明確なビジョンを持っておられた。はっちが開館する前に3本の柱にした。

- ① 中心市街地を関心空間にする
- ② フラットなコミュニケーションの場を創る
- ③ 地域資源の価値をみんなで見出す。

地域課題が山積する今、文化政策はどうあるべきか。観光産業や関係人口獲得にとって、「地域固有の文化」はキラーコンテンツである。それは経済活動をブーストするパワーをもっており、一方で「地域の分母としての文化」は、災害などの危機から再生する力やインクルーシブな思想を住民の中に育み、自身を肯定しながら安心して生きられる社会の礎を創る。

・一般報告 標高差1,500mの地勢を活かしたスポーツ・ツーリズムの創出

長野県東御市長 花岡 利夫氏

長野県東御市は、平成16年(2004年)に東部町と北御牧村の2町村が合併して誕生した市です。長野県の東部に位置し、市域は東西14.7km、南北16.5km、総面積112,37km²で、人口約3万人の小さな市です。ほぼ中央に千曲川が東西に流れ、その右岸から浅間山系にかけては標高差が1,500mにも及びます。この地は、日当たりは良いが平地が少ないことが町の欠点。地方創生で大切なのは、欠点を認めたくえで転換思考をもって地域の資源(価値)につなげることだ。標高差の特徴を生かしてまず思いついたのがワイン醸造であった。そしてもう一つが、標高差を活かせるものが「高地トレーニング」であった。「湯の丸高地トレーニング施設」が具体性を帯びたのは10年前、東京2020オリンピック・パラリンピックの開催が決まった平成25年の事です。

平成29年11月に国内最高地点の全天候型400mトラックが完成し、令和元年(2019)年10月には、高地トレーニングができる国内雄一の屋内プール「GMOアスリートパーク湯の丸屋内プール」が完成。合言葉は、「東御から世界へ」東京2020オリンピック・パラリンピックを経て湯の丸の評価は高まり、コーチの口コミや選手のSNSによる発信もあって認知度は飛躍的に上がった。

・一般報告 まちづくりにおけるプロスポーツクラブの有効活用

株式会社鹿島アントラーズ FC 取締役副社長 鈴木 秀樹氏

プロスポーツクラブには地元自治体、企業と連携しながら、まちづくりを推進していくポテンシャルがある。鹿島アントラーズは発足 30 年の歩みから、まちづくりに関わることこそが地域に存在する意義であるという思想に至った。まだ、その点に気付いているクラブは非常に少ない気がする。そして、プロスポーツクラブを抱える自治体もそうしたクラブの力を認識していないように思える。アントラーズの創設当初のホームタウンは、鹿島町、大野村など 5 町村だったが、現在は、鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市という構成になっている。ホームタウン 5 市の行政職員が 1 人ずつ 1 年交代でクラブに出向(派遣研修)しているのもアントラーズならではである。また地域に根ざしたクラブづくりを進めながら、地域を活性化させてきた。アントラーズは次のフェーズに踏み込み、地域の社会課題の解決を使命と捉え、数々の事業に取り組んできた。アントラーズが本拠を置く地域は高度な医療、教育機関に乏しい。それが大きな地域の社会課題であり、域外からの雇用・移住促進の足かせにもなっている。2015 年、カシマスタジアムに隣接する「アントラーズスポーツクリニック (ASC) を設立し、アントラーズのチームドクターと理学療法士 (PT) が整形外科医療、リハビリの高度なノウハウを地域に還元する形を整えた。

・パネルディスカッション

○コーディネーター

一巡した文化芸術を活用したまちづくり ～自治体文化行政から魅力てきなまちへ～

東京大学大学院人文社会系研究科教授 小林真理氏

○パネリスト1

八戸の独自性が生み出してきたもの

合同会社 imajimu 代表取締役 今川和佳子氏

○パネリスト2

地域活性化におけるスポーツの役割とその変化

拓殖大学商学部教授 松橋崇史氏

○パネリスト3

スポーツとアニメを活用したにぎわいの創出 ～誇り高い沼津市を目指して～

静岡県沼津市長 頼重秀一氏

○パネリスト4

文化芸術・スポーツで紡ぐまち・綾部 ―市民一人1文化・1スポーツの推進―

京都府綾部市長 山崎善也氏

頼重秀一氏は、アニメ文化との関りについて発言され、山崎善也氏は、綾部市は市民の多くの方の合唱との関りについて発言されました。

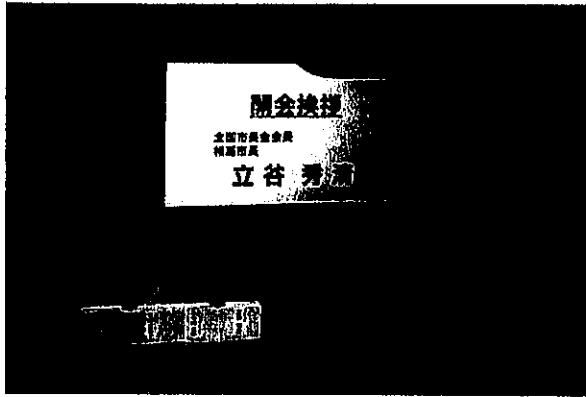
松橋崇史氏は、スポーツと行政についての関りについて発言されていました。

文化芸能・スポーツ・アニメ・行政の課題は、様々なこととの関りが非常に重要だということ。また、課題を克服することは、様々な方との関りを持つことの重要性が必要であるということである。

今後の活用計画

改めて今回の全国都市問題会議に出席して分かったことは、文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展が本市においても非常に大切なことが分かった。文化会館は、平成30年、31年に少し耐震工事を行ったが、総合体育館、市民プール等の施設の大切さを改めて確認できた。長野県東御市長の一般報告では、市の欠点を認めたくえて転換思考による新たな地域資源を見つけた事には、本市においても可能性を見つけるヒントになった。

スポーツの面に関しては、令和5年11月に県民の日学校ホリデーの企画として、中日ドラゴンズOBを招いてのストラックアウト、また名古屋オーシャンズによるフットサル教室のイベントを計画している。このような事が単発で終わるのではなく、その先を見据えてスポーツが生み出す都市の魅力と発展の重要性を訴えていく。



請求書

作成日 2023/06/23

〒
住所:

ACTY
アクト・ユートラベル
(株)アクト・ユートラベル

尾張旭市議会議員

第4(国内)

谷口・秋田・安田 様

名古屋市中区錦3丁目5-28
錦サンライズビル2階

電話:

FAX:

電話: 052-961-3369

FAX: 052-971-2901

営業担当

受付担当

件名 八戸視察

■請求金額⇒

¥169,510

(請求番号)

167240

団体番号

231011

出発日 : 2023/10/11(水)	主な目的地	キャリア	日数	人員合計
出発地 : 名古屋小牧	青森	JH	3 日間	3

下記の通りご請求申し上げます。

請求金額は **2023年06月30日金曜日** までに必ずご入金お願いいたします。

明細	単価	数量	泊	小計
1 国内航空券(往路)	16,500	3		49,500
2 燃油付加料金	1,300	3		3,900
3 国内航空券(復路)	14,500	3		43,500
4 燃油付加料金	1,300	3		3,900
5 手配・発券手数料(税込)	550	3		1,650
6 ホテル代(2泊分)朝食付	14,600	3		43,800
7 レンタカー代(3日間)コンパクトカー/台	16,660	1		16,660
8 免責補償料	3,300	1		3,300
9 手配手数料	1,100	3		3,300

NAME

TANIGUCHI/TAKESHI MR

AKITA/SATOSHI MR

YASUDA/YOSHIHIRO MR

合計金額

¥169,510

現金入金額

現金以外入金

請求金額

¥169,510

●振込先銀行ご案内●

○振り込み手数料は、お客様負担でお願い致します。○

(株)アクト・ユートラベル

(株)アクト・ユートラベル

備考

◆料金	明細	単価	数量	泊数	小計	区分	消費税
1	国内航空券(往路)	16,500	3		49,500		0
2	燃油付加料金	1,300	3		3,900		0
3	国内航空券(復路)	14,500	3		43,500		0
4	燃油付加料金	1,300	3		3,900		0
5	手配・発券手数料(税込)	550	3		1,650		0
6	ホテル代(2泊分)朝食付	14,600	3		43,800		0
7	レンタカー代(3日間)コンパ外カー/台	16,660	1		16,660		0
8	免責補償料	3,300	1		3,300		0
9	手配手数料	1,100	3		3,300		0
169,510							0

領収証 谷口武司様, 秋田智司様, 細石宏様 No. 3

★ ¥169,510 - T9180001033758
 但 10/1-13 青森旅費とLTC (往復航空券, 宿泊費, レンタカー)
 2023年7月4日 上記正に領収いたしました R-169,240

内訳	税率	金額(税抜税込)
	%	消費税額等 ¥161,710
	%	金額(税抜税込) ¥14,677
	%	消費税額等

株式会社アクト
 名古屋市中区錦三
 錦サンライズ
 ☎ (052) 9-6-11
 FAX (052) 9-7-11

取 大
 印 紙

Kannet

ご利用ありがとうございます。



青森県道路公社
料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 下田本線
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日13時15分
車種 普通

通行料金 ¥160-

※通行料金の消費税率は10%です

現金

一入口料金所一 八戸北
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
登録番号: T9010001095716
取扱番号202-07291307-00

ご利用ありがとうございます。



青森県道路公社
料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 下田本線
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日13時15分
車種 普通

通行料金 ¥220-

※通行料金の消費税率は10%です

現金

青森県道路公社
登録番号: T9420005000647
取扱番号202-07290000-00

ご利用ありがとうございました。

領 収 書

青森空港有料道路

23年10月13日 車種 普通

通行料金 ¥220-

現金 ¥220-

(内税10%対象額 ¥220-)

4093 - L03 - 62816

料金所では一旦停止してください。

青森県道路公社

登録番号 T9-4200-0500-0647

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領 収 書

料金所 青森中央
NEXCO東日本お客さまセンター
0570-024-024
または
03-5308-2424

23年10月13日14時09分
車種 普通

通行料金 ¥420-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

一入口料金所一 青森中央本線
ETCなら小銭不要、各種割引もあります。
便利でお得なETCをぜひご利用下さい。
東日本高速道路株式会社
東京都千代田区霞が関3-3-2
登録番号: T9010001095716
取扱番号209-00361407-00

県営名古屋空港駐車場

領 収 書

精算機 #03 A 精算No.000043
発券機 #01 発券No.096586
入庫時刻 2023年10月11日(水) 09:38
精算時刻 2023年10月13日(金) 16:36
駐車時間 2日 6:58
駐車料金 6料金 2,000円
店002 1枚 6料金
=====
合 計 2,000円
現金領収額 2,000円
お預り 2,000円
お釣り 0円

またのご利用をお待ちしております。
合計は消費税率10%対象です。
登録番号 T6180001031780
TEL 0568-29-1600

ご利用ありがとうございました。

領 収 書

みちのく有料道路

23年10月13日 車種 普通

通行料金 ¥860-

現金 ¥860-

(内税10%対象額 ¥860-)

2118 - L04 - 02635

料金所では一旦停止してください。

青森県道路公社

登録番号 T9-4200-0500-0647

ENEOS

納品書(領収書)

2023年10月13日 14:17

売上

楽天カード会員 様 M

6-200351-49991-000

現金会員

車両番号

0026-00

レギュラー

19.67L

171円

合計

(消費税10%対象)

内消費税等

楽天"イカド" : XXXXXXXXXXXX6497

取引ID : 02310132003511700312

取引日時 : 2023/10/13 14:17:40

楽天"イカド" : 基本P 9P

特別P 0P

今回計 9P

利用ポイント 0P

利用可能ポイント 30,000P

本日付与されたポイントは2~3日

後に反映されます。また、会員資格

等の理由で、楽天ポイントが加算

されないことがあります。

詳細はpoint.rakuten.co.jpにて

ご確認ください。

◆営業時間◆

平日 7時00分-19時00分

初日 8時00分-18時00分

日曜日 定休日

ENEOSフロンティア北東北

D、D青森荒川通りSS

青森県 青森市

大字荒川字柴田102-3

TEL:017-729-3131

登録番号: T4010001140063

サイトNo 1704-04H

テ-ルNo2680-2663

003

2023/10/13

株式会社JTBジェイネット東北
 所長 鎌田 友子
 〒980-8520
 宮城県仙台市青葉区一番町3-7-23
 明治安田生命仙台一番町ビル3階
 担当者: [REDACTED]

請求書番号:223394317000315001
 登録番号:T8010701012863

請求書

谷口 武司・秋田さとし・安田吉宏 様

下記のとおり請求申し上げます。

請求額合計 ￥30,000 (税込)

イベント名 第85回全国都市問題会議

イベント会期 2023/10/12 ~ 2023/10/13

請求額合計	(税込)	内消費税/税区分
	￥30,000	￥0 -
(10%対象)	￥0	￥0 -
(8%対象)	￥0	￥0 ※1
(対象外)	￥30,000	￥0 ※2

入金額 ￥0

請求残額 ￥30,000

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

請求書備考

お支払期限 2023/09/29

口座情報	
銀行名	[REDACTED]
支店名	[REDACTED]
口座種別	[REDACTED]
口座番号	[REDACTED]
口座名義	株式会社JTB

明細は次頁以降をご参照ください。

請求明細

請求書発行日: 2023/09/15

2 / 2

請求額合計 ¥30,000 (税込)

【内訳】

イベント名	第85回全国都市問題会議				
イベント会期	2023/10/12 ~ 2023/10/13				
申込日	ご利用日・内容	本体単価 (税込)	数量	本体合計 (税込)	税区分 内消費税
2023/09/07	2023/10/12~13 会議参加費 谷口 武司 様(申込者)	¥10,000	1	¥10,000	※2
2023/09/07	2023/10/12~13 会議参加費 秋田 智司 様(谷口 武司 様:同時登録者)	¥10,000	1	¥10,000	※2
2023/09/07	2023/10/12~13 会議参加費 安田 吉宏 様(谷口 武司 様:同時登録者)	¥10,000	1	¥10,000	※2
① 請求額合計				¥30,000	¥0
				(10%対象)	¥0
				(8%対象 ※1)	¥0
				(対象外 ※2)	¥0
② 入金額				¥0	
③ 請求残額				¥30,000	

※1 軽減税率適用

※2 消費税対象外商品

会議参加費 領収書

森田 智司 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9月15日

第85回全国都市問題会議実行
会長 熊谷 雄



会議参加費 領収書

谷口 武司 様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年 9月15日

第85回全国都市問題会議実行
会 長 熊谷 雄



会議参加費 領収書

母田吉宏様

金 10,000円

但、「第85回全国都市問題会議」に係る会議参加費として
上記正に領収いたしました。

令和5年9月15日

第85回全国都市問題会議実行
会 長 熊谷 雄



政務活動費実績報告書

研究研修費・調査旅費

実績報告書 No. 3

項目		研究研修費・ <u>調査旅費</u> (該当する項目を○で囲む)	
期間		令和6年1月25日～令和6年1月26日	
研究研修名 場所等	調査先 1	熊本県 玉名市役所	玉名市岩崎163
	調査先 2	熊本県 益城町東無田集落	上益城郡益城町無田地区
	場所を益城町復興まちづくりセンター「にじいろ」等に変更 上益城郡益城町大字宮園702 (新庁舎南側)		
	調査先 3	熊本県 益城町役場	上益城郡益城町大字宮園702
4 人			
参加者 (氏名等) 陣矢幸司、谷口武司、秋田さとし、安田吉宏			
研究研修・調査の項目			
◎震災時の初動体制と復興に向かう住民支援の在り方について			
・座学「防災リーダーの役割と自助意識を高めるために60分」熊本県防災センター			
・職員の参集と被害状況の把握について (当時と現在)			
・避難所の開設と避難者の把握について (当時と現在)			
・避難所の運営 避難所・避難所外避難者への物資の配給について			
・復興に向かう住民支援の在り方について			
・議会の対応と議員の行動について (期待するかかわり方)			
上記の内容を調査するために、事前に玉名市へ⑮項目、益城町へ⑯項目の質問を送信 させていただいた (別紙2)。訪問前に、熊本県防災センターで熊本地震の全容を把握し 基礎知識を学び、益城町への訪問前には特に、被災経験を基に民間で活動されている方 から当時の状況を聞き取るとともに、表層に現れた断層を見学させていただいた。			
適用		金額	備考
経 費 内 訳	交通・宿泊費	175,600 円	県営名古屋・熊本・レンタカー・宿泊 43,900円×4名分
	交通費 (レンタカー等)	2,111 円	レンタカー燃料代
	道路通行料等	680 円	有料道路 (植木IC⇒益城熊本空港IC)
	交通費 (駐車場利用料)	1,500 円	県営名古屋空港駐車場 (2日間)
	研修会受講代	4,000 円	1,000円×4名分
		183,891 円	

《内容及び今後の活用計画は裏面記載》

第4号様式 (その1)

内 容

別紙 (1) のとおり

今後の活用計画

別紙 (1) 視察報告書 参照

別紙 (2) 事前質問事項に対する回答 (現地聞き取り) 報告書と考察 参照

調査・研修実施 行程表 (1日目)

■令和6年1月25日(木) 研修先:熊本県防災センター 調査先:玉名市役所

6:20	発	尾張旭駅					尾張旭⇒名古屋空港
		↓	自家用車		移動	30分	
6:50	着						
7:10	発	名古屋(小牧)空港			乗換	20分	名古屋空港⇒熊本空港
		↓	JAL4341便				バック料金に含む
8:40	着		(熊本行)		移動	90分	
9:20	発	熊本空港					
		↓	徒歩		移動	20分	
9:40	着						
10:00	発	熊本空港内			乗換	20分	
		↓	レンタカー(19km)		移動	40分	バック料金に含む
10:40	着						
10:45		熊本県防災センター			調整	5分	
		研修			視察	90分	
12:15							
12:20	発	熊本県防災センター			調整	5分	
		↓	レンタカー(31km)		移動	150分	移動時間60分
14:50	着						(昼食含む)
15:00		玉名市役所			調整	10分	
		視察			研修	90分	
16:30							
16:40	発	玉名市役所			調整	10分	
		↓	レンタカー(18km)		移動	40分	
17:20	着						
17:30		宿泊先チェックイン	徒歩		移動	10分	
		ゆとりろ山鹿					1泊朝食付
							バック料金に含む

調査・研修実施 行程表 (2日目)

■令和6年1月26日(金) 研修先:復興まちづくりセンターにじいろ 研修先:益城町役場

時間	発	着	移動手段	移動	所要時間	備考
9:00	発	宿泊先				
		↓	レンタカー(42km)			
10:00	着		有料道路 680円	移動	60分	熊本⇒益城熊本空港
10:10		復興センターにじいろ		調整	10分	
		研修				
12:40			レンタカー(20km)	研修	150分	現地視察に使用
12:40	発	復興センターにじいろ				
		↓		移動	70分	昼食含む
13:50	着		徒歩			移動10分
14:00		益城町役場		調整	10分	
		視察		研修	90分	
15:30						
15:40	発	益城町役場		調整	10分	
		↓	レンタカー(8km)	移動	20分	
16:00	着					
20:00	発	熊本空港		調整	240分	レンタカー返却
		↓	JAL4348便 (名古屋行)			パック料金を含む
21:20	着			移動	80分	
21:40	発	名古屋(小牧)空港		乗換	20分	
		↓	自家用車	移動	40分	
22:20	着					
		尾張旭駅				
交通費・宿泊費(パック料金)				175,600円		
東無田集落スタディーツアー参加費				4,000円		
名古屋空港駐車場			48時間以内(1,500円)	1,500円		
有料道路				680円		
レンタカーガソリン代			L=8170(138km)	2,111円		
				183,891円		
総額						
183,891円		÷4名=		45,973円		
合計(1名)				45,973円		

別紙 1

熊本県 令和あさひ視察報告書

研修先 1. 熊本県防災センター 熊本市中央区水前寺6丁目18-1

日時：令和6年1月25日 10時45分～12時15分

面談者：熊本県知事公安室危機管理防災課 防災センター展示・学習室運営員 気象予報士
防災士 気象防災アドバイザー 歌丸喜久様

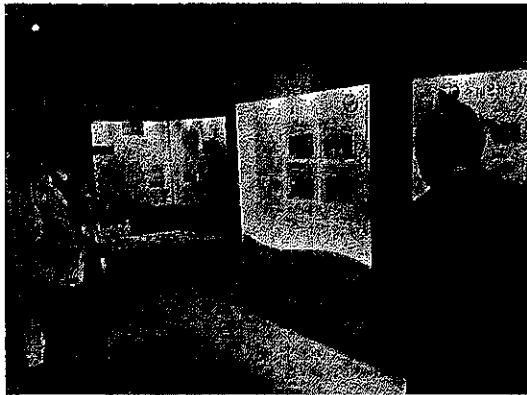
内容：「防災リーダーの役割と自助意識を高めるために」をテーマに過去の主な自然災害や大災害に備えるための線状降水帯や台風についての説明、マイタイムラインの作成の必要性や地震のしくみの説明、地域の自主防災リーダーの役割や地域における防災の主な活動の説明を受けました。

その後、展示室の紹介と建物2階にある災害対策本部及びオペレーションルームを見学しました。

今後の活用計画：

熊本地震を経験したからこそその自主防災リーダーの役割や地域における防災の必要性の説明がよく分かりました。自主防災組織が地域の状況を把握し、避難を呼びかけることが大切とのことで、本市の自主防災組織への参考になりました。

また、旧対策本部は4階にあり、上り下りに大変苦労をしたとのこと。それを踏まえて震災後に建てられた防災センターの対策本部は2階に作ったとのこと。普段からオペレーションルームは設置されておりいつでも使用可能な状態になっていた。オペレーションルームの配置や電話などの備品は大変参考になりました。



調査1. 熊本県玉名市役所 玉名市岩崎163

日時：令和6年1月25日 15時00分～16時30分

面談者：江田議長、議会事務局 古閑参事・松野次長、
総務部防災安全課 二瀬課長（説明者）

内容：総務部防災安全課 二瀬課長より「震災時の初動体制と復興に向かう住民支援の在り方について」というテーマでお話しいただきました。またほとんどの時間を事前に送った質問内容に回答をする形で進行されました。一部「議員・議会事務局の対応」については、議会事務局 松野次長より説明をいただきました。玉名市は当市が想定している震度6弱の地震を2度経験したが、その割にはライフラインが無事であったなど被害が少なかったという印象。避難者については、想定以上に車中泊の車が市役所駐車場に集まったとのこと。玉名市では避難所に文化センターや公民館など市の施設を指定しており市の職員が運営を行ったとのこと。小中学校は2次避難場所になっているとのこと。被災後、議会として市総合防災訓練の中で「招集訓練」や「災害時対策会議運営会議の模擬訓練」や「災害時対策会議のオンライン会議」などの訓練を行ったとのこと。また、玉名市議会災害対応基本計画の策定もされている。

今後の活用計画：

BCP策定、オンライン会議による議会災害時対策会議の訓練を行っていることから、本市議会でもこれから検討していく項目を実行しているのは大変参考になりました。

玉名市も市の真ん中に川が流れており市を分断しているが、熊本地震の時は橋が落ちることなく援助が行えたとのことでした。元々1市3町が合併してできた市なのでそれぞれの地域に消防拠点があるとのこと。本市も東西に川が流れており南北を分断する可能性があるため、震度6弱の地震では橋に影響はなかったなど、参考になった。



調査2. 東無田復興委員会 益城町復興まちづくりセンター 益城町大字宮園702

日時：令和6年1月26日 10時10分～12時40分

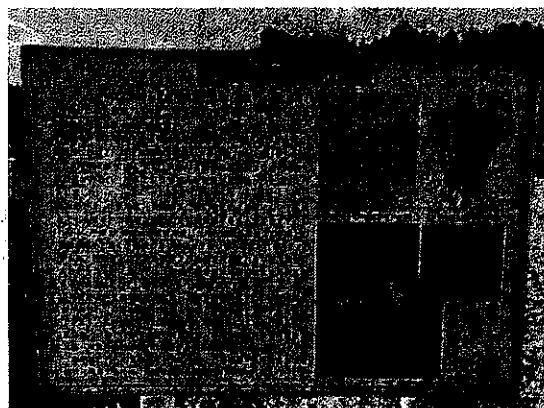
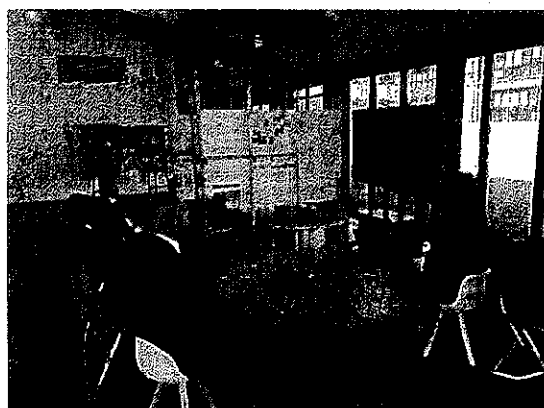
面談者：東無田復興委員会 代表 田崎真一様

内容：座学にて震災当時の東無田地区の状況の説明を受け、その後、布田川断層帯の谷川地区と堂園地区を調査しました。

東無田地区は熊本城からみて東側にあるので東地区と呼ばれている。震災のピンチをチャンスに変えスタディーツアーを開催している。

今後の活用計画：

元々この地区には事前の備えがなく油断をしていたとのこと。地域の避難訓練や自主防災組織もなく、被災後必要性を感じ、共助の大切さを実感したとのこと。このことから、地域の自主防災組織は有事の際には必要と再確認できたので、自主防災組織の役割を果たせるよう働きかけたい。



調査3. 熊本県益城町役場 益城町大字宮園702

日時：令和6年1月26日 14時00分～15時30分

面談者：危機管理課 岩本課長、福祉課地域福祉係 宮原主事、
都市計画課建築係 今吉主査

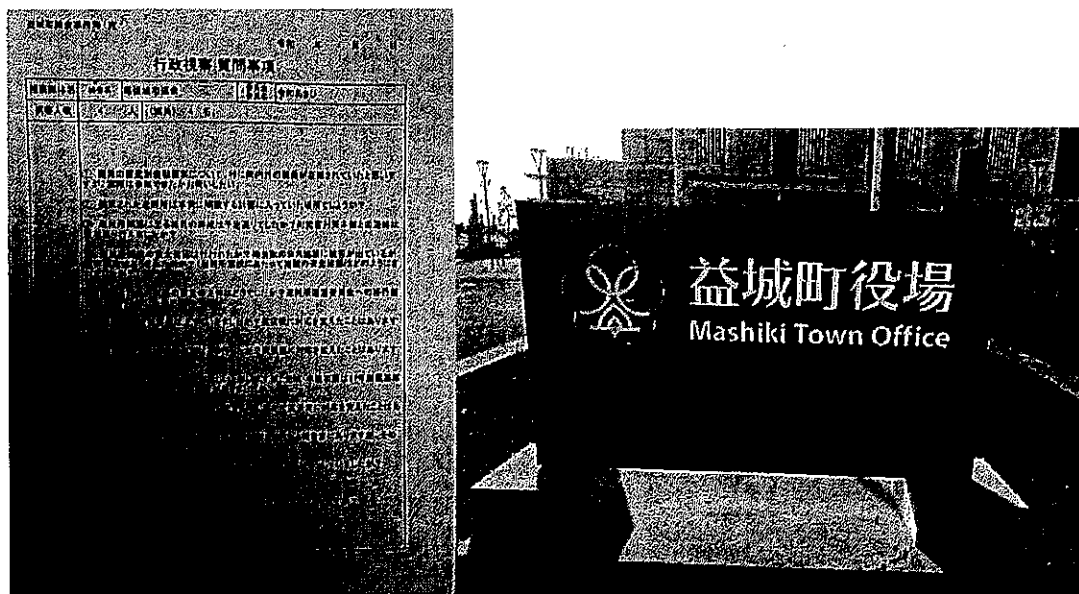
内容：震度7の地震を2度経験した益城町の熊本地震による被害状況、直後の課題、復旧・復興の取り組み、災害公営住宅の整備、応急仮設住宅の取り組みなどの説明を受けた。

また、当方から事前に送った質問内容に回答・解説をいただいた。

今後の活用計画：

被害がひどく、当時対応していた岩本課長は何日も家に帰れずお風呂にも入れなかったのが辛かったとのこと。防災協定を結んでいる先には言いやすいので、担当業務を代わってもらえる分野の担当者が来てくれることが非常に助かると話していました。

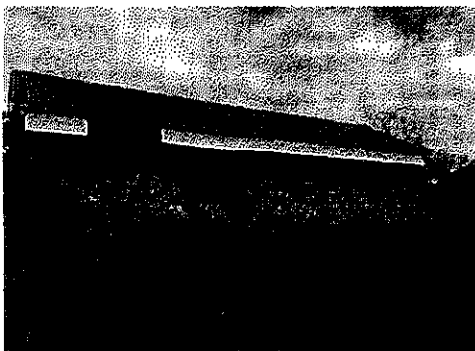
震災を体験した生の声は大変参考になるため、本市の防災に役立てたい。



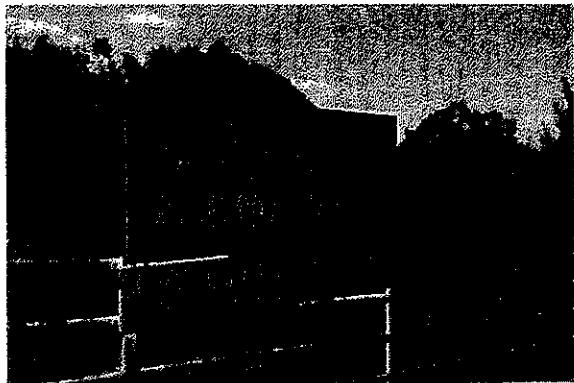
行政視察 事前質問事項に対する回答（現地聞き取り）と
尾張旭市での今後の活用方法（考察）

熊本地震とは

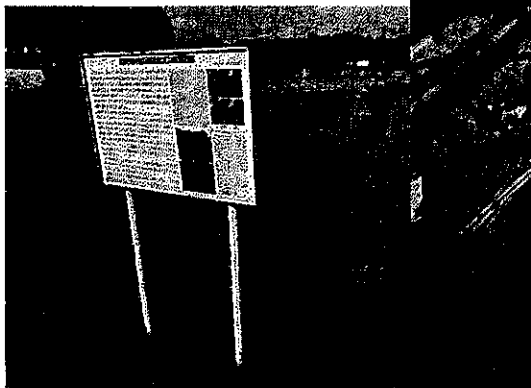
2016年（平成28年）4月14日21時26分に震源の深さ11km・マグニチュード6.5を観測、その28時間後の4月16日1時26分に、震源の深さ12km・マグニチュード7.3の地震（本震）が発生し、西原村と益城町で日本で初めて震度7を2回観測し家屋の倒壊などのほか、熊本城が被災し石垣や屋根などに多大な被害をもたらした地震です。



熊本城
今も残る被害の跡



震災の記憶を残す事業が進む



質問内容① (共通)	職員の震度別自動招集について、特に市・町外の職員が在職されていたと思いますが、実際は参集できたかお伺いしたい。
玉名市	震度6弱から全職員の登庁。 ・現在は、安心メールのアンケート機能を利用して(30分以内・1時間以内・無理など)把握できるようにしている。LINEも併用する。
益城町	震度6弱から全職員の登庁。(全職員252人・・・当時) 62%の職員が翌日の6時30分までに参集できた。職員の18.2%の住居が全壊、45%が町内在住だった。 ・現在は、登録制メールのアンケート機能を利用し、位置情報を把握できるようにしている。
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○震度の設定により自動招集の所は同じ、尾張旭市ではアンケート機能を有したメール機能を職員が既に活用している。こちらは、非常時だけでなく活用し慣れておく必要があると思われる。</p> <p>○通常時にぎりぎりの職員数で対応しているので、非常時に余力を作るのは難しいが、大切な部分だけ機能させる非常時の職員配備について考え、予備率を計算に入れた運用も考慮する必要がある。</p>	

質問内容② (共通)	開設された避難所は事前に開設する計画に入っていた場所でしょうか？
玉名市	22時35分に8か所の避難所が開設(玉名市資料より) 8か所中7か所は指定避難場所であったが、残りの1か所は市役所駐車場で、多数の住民が車で避難してきたので避難所としての対応を行った。
益城町	指定避難所16か所中6か所しか避難所として利用することが出来なかったため、指定されていなかった4か所を避難所として開設して10か所の避難所とした。
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○被害によって使えない建物も想定される。また、以下の質問の考察でも述べていくが、車中泊についてしっかりとした対応方法を決めていく必要がある。避難所や避難場所、避難方法の多角化を考慮しなければならない。</p>	

<p>質問内容③、④ (共通)</p>	<p>③避難所開設に至る職員の動線は予定通りでしたか？ 市・町災害対策本部との連絡は通常通り行えましたか？</p> <p>④避難所開設の安全確認は行われましたか？ また、その開設の判断はどのようにされましたか？</p>
<p>玉名市</p>	<p>③計画通りにはいかなかった。電話での通信は可能であったため、登庁した職員順に4名一組の班を作り避難所の開設に向う対応をとった。連絡は電話回線の優先回線があったので対応出来た。</p> <p>④職員による落下物の確認を行った。(しかしながら、指定避難所に入らず施設の駐車場で車中泊をする住民が多数いた。)時間を経てになるが、安全確認は市の営繕課が点検し、被害の大きさにより業者の判断を得て対応した。</p>
<p>益城町</p>	<p>③・④町役場庁舎が被災し使用不能となり、災害対策本部を設置する庁舎の代替を作る必要があった。庁舎の電話回線が使えず、個人の携帯電話で情報のやり取りを行った。時間を経て、以前から消防団が活用していたLINEを活用し、職員グループ、避難所グループなどのグループLINEを作り連絡機能として活用した。避難所の開設には、急遽指定避難所の近くに住む課長職の職員に目視点検を行ってもらい、少しでも壊れていれば避難所を開設しない対応をとった。結果的に微弱な被害状況だったが開設しなかった避難所で4月16日1時25分の本震により大きな被害が出た避難所もあった。その後の運営に有っては、開設に向かった課長職の職員により、自分の課の部下を集めてもらい運営にあったってもらった。</p>
<p>考察</p> <p>○本市の職員の態勢は、予め班が決められ班員が集まり次第活動を開始するようになっていますが、班員が集まらなかった場合の対応も訓練が必要だと思われます。</p> <p>○本市の避難所の開設は、職員の建築技師が確認してから開くことになっていますが、市民の認識度は低いままになっています。</p> <p>○本市の避難所の開設は、建築技師が間に合わない等の場合において、自主防災組織の代表者が建物の使用を開始できるようになっています。各校区に責任を負う校区担当職員の考え方は無くなりましたが、市が、市長が責任を負うとはいえ自主防災組織員(しかもスキルの無い)が開設していいのでしょうか。現地で自分の目で確認した、職員の中でも課長級職員以上に開設許可責任を持たせた益城町の対応は震災の規模こそ違えど参考にすべきだと思います。</p>	

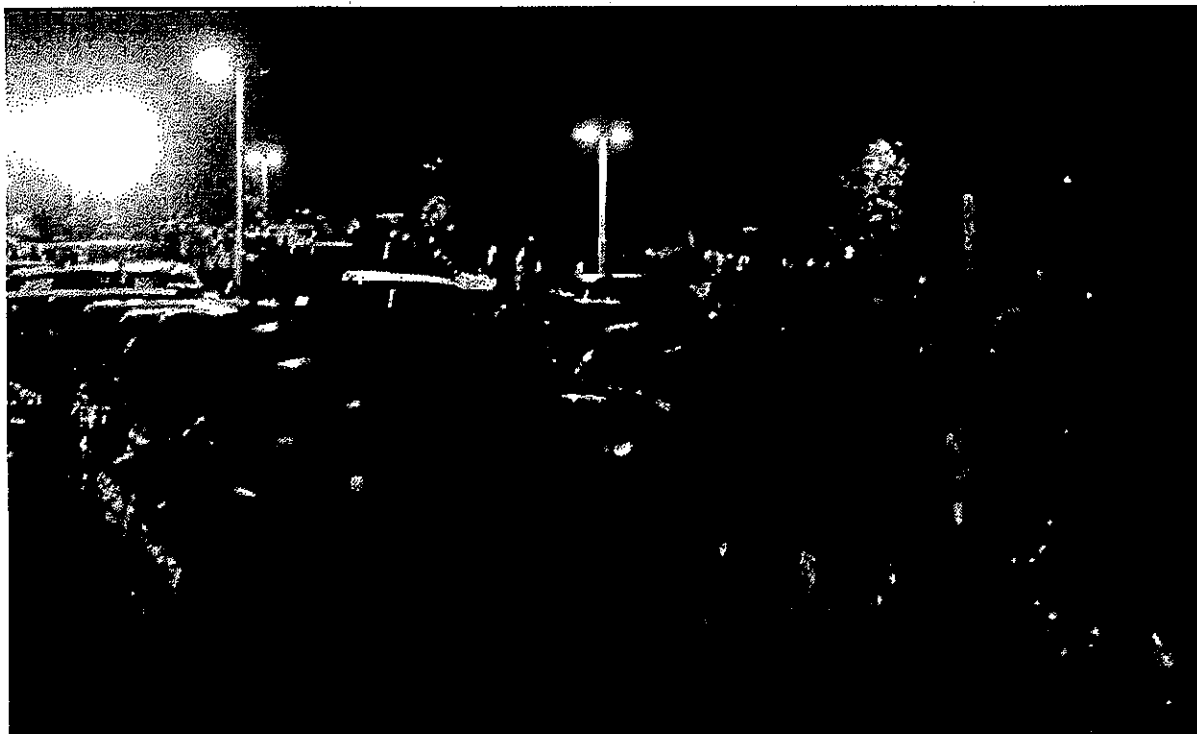
質問内容⑤ (共通)	開設された避難所の運営の主体はどうでしたか？避難所運営委員会への移行は想定通りに行えましたか？
玉名市	元々市民が中心となった運営は想定されていなかった。開設に向かった職員（4人）と増員や交代の職員を派遣し、施設管理者とともに避難所運営に当たった。
益城町	元々町民が中心となった運営は想定されていなかった。課長職を中心として開設された避難所に増員を派遣し、1避難所あたり10人から15人の職員で避難所運営に当たった。（災害対応において人員不足が生じることになった。）
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○本市では、避難所の立上げをサポートして災害対策本部と連絡調整を行うために連絡職員2名が交代で常駐することになっていますが、自主防災組織と2名の連絡職員を交えた訓練や会議は行われていないので、改善の必要があると思われる。</p>	

質問内容⑥ (共通)	市民（町民）への情報提供は上手くいきましたか？震災後に対応を変えたことはありますか？
玉名市	通信インフラに問題がなかったためインターネットを通じて市ホームページからの情報発信、防災無線を活用して情報の発信を行った。震災後はLINEなどSNSを活用した情報発信の手段を取入れ強化した。
益城町	庁舎機能が麻痺しサーバーが被災したためホームページの活用が出来なくなった。また、防災行政無線も親局が被災し手動機能も使用できなくなった。さらに、中継局においても非常用燃料が尽き使用不能となった。 震災後は情報系サーバーをクラウド化した。 FM局を新設（2019年3月25日から3年間「臨時災害局ましきさいがいFM」を開局）していた。 災害モード無線の機能を活用することとした。
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○本市でも、防災アプリの導入、SNSを活用した情報発信の多様化に力を入れている。しかしながら、その認知度は低いと思われる。また、土木管理課の運用する「道路の損傷等通報システム」は通報者の位置情報が特定できる災害時に最も活躍するシステムであるが、こちらも認知度は低いと思われる。</p> <p>○情報系サーバーのクラウド化については、本市ではホームページの更新機能に関してはクラウド化が出来ている。しかしながら、被災者台帳等の作成に使われるメインサーバーは庁舎内にあるため、この機能のクラウド化も検討が必要だと思われる。</p> <p>○FM局の利用については、本市では(株)尾張東部放送、愛称：RADIO SANQ「ラジオサンキュー」と災害時の協定を結んでいるが、車載アンテナでは本市の中部や西部では聞き取れないところが多いと思われるので対策が望まれる。</p>	

質問内容⑦ (共通)	市民(町民)から入る情報の処理はどう行ったか? 震災後に対応を変えたことはありますか?
玉名市	発災直後から庁舎の電話が鳴りやまず、総務部の職員を動員し対応にあたり、担当課に割り振る対応を行った。 玉名市では、地区毎にそこに住む職員を地区防災責任者として専任していたので、選任されていた職員は地元対応の一翼をになって活動した。
益城町	発災直後から庁舎が被災しているため情報は、警察・消防・自衛隊から受ける形になったが、1課に情報を集約し担当に振る形態で対応した。
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○玉名市の担当者からは、電話の対応、窓口で対応の他に、被災地にはマスコミが押し寄せて、各社が毎回同じような質問をしてくる、業務に差しさわりが出るためマスコミ対応の窓口を事前に決めておかなければならないと意見をいただいた。検討が必要だと思われる。</p>	

質問内容⑧ (玉名市)	住宅対策プロジェクトチームの業務・震災対応プロジェクトチームの業務とは? (玉名市の記録P141に記載)
玉名市	被災者支援のため4月22日に検討に入り25日に発足させた。プロジェクトチームの発案により総合窓口各担当課2人ずつを配置することになった。また、6月1日には被災者支援課を発足させるに至った。
<p style="text-align: center;">考察</p> <p>○災害対策本部の指示を受けながらも、被災状況に応じた復旧・支援活動を行うために、状況に応じた訓練する必要がある。</p>	

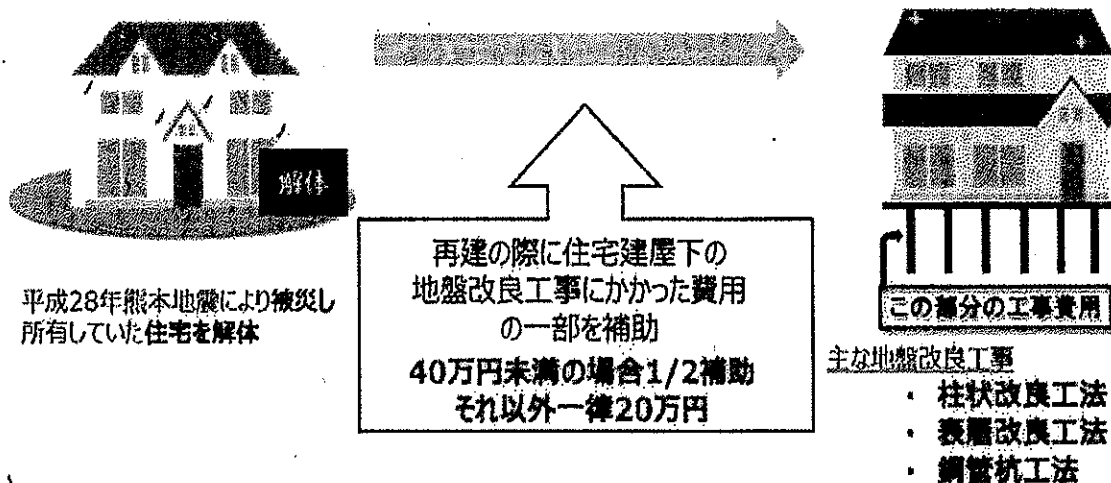
質問内容⑨ (玉名市)	小学校の体育館は避難所として機能したか？
玉名市	<p>耐震化工事は完了していたが、市内小中学校は1次避難所には指定されておらず、2次避難所の指定となっていた。1次避難所は市総合体育館と各地区の公民館が指定されていた。</p> <p>2次避難所の学校を避難所開設したところもあるが、学校施設での長期間の避難生活は難しいと判断して長いところでも2日間にとどまった。</p> <p>小中学校への避難者の多くも学校のグラウンドへの車中泊を期待する避難者であった。また、2次避難所への職員常駐は計画になかったため開設に時間を要した。</p>
<p>考察</p> <p>○現在、本市では車中泊への対応は想定外となっている。プライバシーの確保・車載バッテリーを活用したエネルギーの供給・被災状況に応じてフレキシブルに対応できる自家用車を中心とした避難生活は想定しなければならないと思われる。少なくとも指定避難場所での車中泊希望者の受け入れについて道筋をつけなければならないと思われる。</p> <p>○エコノミー症候群による震災関連死を防ぐ意味でも早急に検討が必要だと思われる。</p>	



駐車場で車中泊をする人たちの車＝熊本県益城町（2016.4.20）時事通信社より

<p>質問内容⑩ (共通)</p>	<p>市内点在した・町内に多数あった、全壊・半壊家屋は57年耐震基準を満たしていたか？ また、(益城町においては、断層直上にあり昭和57年以後の新耐震基準でも限界があると思われませんが)被害に差がありましたか？</p>
<p>玉名市</p>	<p>耐震基準に応じた家屋調査を行っておらず(回答する課が異なる為か?)把握していない。</p>
<p>益城町</p>	<p>差があると言えは有ったと思われる。 能登半島地震の映像を見てもわかると思われるが、地盤の重要性に着目する必要がある。 地盤の液状化が起これば新耐震基準を満たしていても確実に傾く。また、旧耐震基準でも地盤のしっかりした所にあると思われる建物は被害を免れている場合もあった。 震災後、震災による被害からの早期の復興と被災者の「痛みの最小化」を図ることを目的として、平成28年熊本地震による被災住宅の建て替え時の地盤改良工事に要する費用を援助(40万円以下の場合2分の1、それ以外は一律20万円)する地盤改良工事補助金の施策を実施している。</p>
<p>考察</p> <p>○本市でも災害対策ハザードマップに液状化の危険性を示す地域がある。 また、最近の住宅建築においては、地盤改良を進める工事店も増え地盤へ着目されている一面は見受けられるが、軟弱地盤地域への地盤改良の補助金を検討してはどうだろうか。また、地盤という点では北部丘陵地の亜炭鉱跡は現在でも地盤の崩落がある。 住宅建て替えを機に地盤調査・地盤改良の補助金の検討をしてみてもどうだろうか。</p>	

| 交付対象となる工事の例および補助額



質問内容⑩ (共通)	避難者への物資配給は滞り有りませんでしたか？震災後に対応を変えたことはありますか？
玉名市	ライフライン（電気・ガス・水道）に被害はほとんどなく、商店も通常どおり営業されていたので、国や県からの支援で物資不足は起きなかった。
益城町	国や県からのプッシュ式物資納入によって物資不足は起きなかった（必要な物資を必要なだけ支給することが可能だった）。一方で、道路等の破損により、配送に6時間を要する避難所もあった。また、物資の配布方法として、各地区の区長に許可証を出して引き取りに来てもらう方法をとった。（避難所外避難者への対応） ・震災後、避難地公園に（本市の一時避難場所）・・・10台から20台車がはいる土地19か所、6m以上の幅を有する道路23か所を指定して、かまどベンチ、防災倉庫、井戸、東屋を整備した。
考察	<p>○物資の供給を可能にする道路や橋脚への損傷が無く、ライフラインの耐震化や被災時の早期復旧が行われれば大きな混乱はなさそうである。</p> <p>○いざという時に地域住民が助け合う為の地域資源や資材（井戸や農機具、長梯子、車載ジャッキなど）が失われている。指定避難所以外の整備も検討する必要がある。</p>

質問内容⑪ (玉名市)	避難所外避難をされる方はいらっしゃいましたか？その方々への物資供給は順調でしたか？
玉名市	車中泊の避難者の方が多かった。物資不足はなかった。震災後、給水に問題が生じることも考えられたため、（平成30年・2018年3月）に給水車を購入した。

質問内容⑫ (益城町)	多くの方が自動車などを含む避難所外避難をされたと報告書にありますが、その方々への物資の配給は順調でしたか？
益城町	益城町役場から直線距離で約3Km、益城熊本空港インターに有る熊本産業展示場（グランメッセ熊本）駐車場台数2200台に3000台を超える避難者が集まった。昼と夜で避難している車の台数も変わり、避難者名簿の作成や必要な支援物資の把握は難しい状態であった。（益城町を出ると甚大な被害は有るものの、商品の流通は確保されていたと推測する。）
考察	<p>○やはり車中泊希望者への対応をある程度想定する時期に来ていると思われる。</p> <p>○本市ではすでに給水車を1台保有している。上水道の破損に備え、現在の給水拠点の整備範囲では、給水に困難な方々が多いと思われる。より極め細かな給水拠点の整備と維持が必要だと思われる。</p> <p>○移動していく被災者??は避難所ごとに登録制に??そもそも支援が必要??要検討</p>

質問内容⑬ (共通)	物資の提供を求めて避難所への避難者になった方はいらっしゃいましたか？
玉名市	無し、ではあるが、 備蓄物資の倉庫があると公表しているところへ、人が集まったという事例は有った。 地区外から来た被災者を、天水地区（玉名市でも被害が大きかった地区）の旅館などの方々が温泉を無料開放していたとの事例は聞き及んでいる。
益城町	避難所で避難者が必要なものは必要なだけ配布していたので把握していない。
<p>考察</p> <p>○備蓄物資倉庫に人が集まった事例があるようで、本市では備蓄物資倉庫の位置が公表されている。物資の積み込み時に人が集まったらパニックに陥る可能性がある。対策が必要だと思われる。</p>	

質問内容⑭ (共通)	避難所ごとの運営を市民が担うことはできたか？
玉名市	無し 最も長く開設されていた避難所は、市の福祉センターで1か月開設していた。
益城町	町が把握する、18か所の避難所のうち2か所が住民主体で運営する避難所となった。
<p>考察</p> <p>○視察先では避難所の運営を市民・町民が担うことが想定されていなかった。 ○熊本県防災センターで受講した研修「防災リーダーの役割と自助意識を高めるために」では、共助の要となる自主防災組織を作っておく事、地域の自主リーダー育成と地域の自助意識を高める事の大切さが強調されていた。また、災害時の成功例として東日本大震災の「釜石の奇跡」同様に熊本地震でも「西原村の奇跡」があり、いずれも災害対応型の周到な訓練が行われていた事が研修のまとめの部分で紹介された。このことから、住民主体の訓練、出来得るならば災害対応型の訓練を空振り恐れずに行っておくことが本市にとっても必要なのだと思う。</p>	

余談

○先述したように、本市では校区担当職員の制度は無くなっています。避難所に連絡員として配置される職員は市外在住の可能性もあり、情報を持っていても地元でその情報が活かされるのか？疑問を感じています。また、職員OBとの防災協定が結べないか？少なくとも本市の諸事を生業とする職員・OBの方に地域のリーダーとして自主防災組織への加入を進められないかと思う。

質問内容⑩ (共通)	議員・議会事務局の対応はどうでしたか？震災後に対応を変えたことはありますか？
玉名市	議員個人から市への連絡は控えてもらう対応をとった。(混乱を招くため) H29.11 玉名市議会基本条例を施行。(H29.11.13～) H29.11 議会基本条例の規定に基づき、玉名市議会災害対応基本計画(議会BCP)を策定。 H30.11 議会で初の防災訓練の実施。 R01.11 2回目となる市総合防災訓練にあわせて災害時対策会議を実施。
益城町	議会再開まで毎月10日・20日・30日に全員協議会を開催し、専決処分報告を行った。 ◎平成28年第2回定例会を7月26日会期1日で行う。報告3件、一般会計補正予算(第1号)(第2号)を含む専決処分16件、また一般会計補正予算(第3号)など補正予算4件、条例改正案1件を審議、一般会計補正予算(第3号)の一部修正を行った。また、国に対して被災者生活再建支援法の改正を求めるなど意見書3件を提出することとした。災害復興特別委員会を設置した。 ※上記記載は益城町ホームページにある2016年9月20日更新の「益城町市議会だより清水No.62」より抜粋させていただきました。
考察	○災害による被害の大小によって、議会や議員の行政への関わり方は変わって当たり前だと思います。残念ながら今回の視察においては議会が行政の邪魔にならない対応をとることが最善であるという従前の考え方を示す事例はありませんでした。しかしながら、議会は議会という組織を最大限生かせる仕組みづくりをしておかなければならないと感じました。そのためにも、「尾張旭市災害発生時の対応要領」を「災害対応基本計画(議会BCP)」として底上げしていくかの話し合いが必要だと思いました。

雑談にて①

いざ災害が起きると、職員の方は次から次へと寝る間もなく対応に追われていたことが切実に伝わってきました。本市は平成23年に「大規模災害等における相互応援に関する協定」を能登半島の輪島市と締結しています。益城町の担当の方は、災害協定を結んでいる市町には協力をお願いしやすいと話しておられました。益城町では7つの市町と協定を結び、「言い方は悪いですが」と前置きされ、いざ災害が起こった時には、職員の経験値を上げるためにも積極的に応援職員を派遣しているとのことでした。

雑談にて②

益城町では、震災の後に住宅の建て替えが進んでいましたが、建て替えられる住宅の多世帯化がみられるとのことでした。

終わりに

昨年の12月初めに視察研修を企画し急なお願いにも引き受けてくださった、熊本県防災センター様、玉名市様、益城町様、東無田復興委員会様ありがとうございました。年が明けて2024年1月1日には能登半島地震が発災し、危険度が高い断層がない所でも隠れた断層、予想もしない地震が何処でも起きることを実感いたしました。

震災関係の視察研修報告書をまとめるにあたり、能登半島地震の被災者の方へ心を寄せたいと思います。2016年に被災した熊本県益城町の今なお続く復興への取組を視察し、今なお余震が続く能登半島での地震により今後、人的・物的被害が拡大せず、被災された方々にあまねく継続的な支援が行き届くことを願います。

今回の視察研修により、本市で備えて行かなければならない点が現地での事例を見聞きしたことにより明確になった気がいたします。

本報告書に目を通していただいた方に、議論のきっかけや、できれば共通の認識が得られたら幸いです。

最後に、時機が許すならば、益城町の方が提案してくださった「輪島の朝市」を尾張旭市で開催出来たら良いと思います。

谷口武司、陣矢幸司、秋田智司、安田吉宏

様

支払金額

175,600 円

ツアー料金: 183,600 円

クーポン利用額: -8,000 円

但し サービス利用代金等として

■ 内訳

クレジットカード利用金額 175,600 円

■ 課税対象

10%対象 175,600 円

課税対象外 0 円

■ 旅行内容

代表者 たにぐち たけし

予約番号 RJ62460307698050898

旅行日程 2024/01/25 ~ 2024/01/26

申込人数 4名 (大人4名/子供0名/幼児0名)

航空会社 日本航空

ホテル 山鹿温泉 熊本旬彩の宿ゆとりろ山鹿 (2024/01/25から1泊
・4部屋)

レンタカー バジェットレンタカー

■ 利用明細

内訳 大人 45,900 円 x 4名

レンタカーオプション 0 円

ご利用ありがとうございました。

楽天グループ株式会社

トラベル&モビリティ事業

〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1

楽天クリムゾンハウス

<https://travel.rakuten.co.jp/>

登録番号: T9010701020592

県営名古屋空港駐車場

ご利用ありがとうございます。



料金所では一旦停車してください。

領収証

精算機 #03 A 精算No.000110
 発券機 #02 発券No.085937
 入庫時刻 2024年 1月25日(木) 06:38
 精算時刻 2024年 1月26日(金) 21:19
 駐車時間 1日 14:41
 駐車料金 0料金 1,500円
 店002 1枚 0料金
 =====
 合計 1,500円
 現金領収額 1,500円
 お預り 1,500円
 お釣り 0円

領収書

料金所 益城熊本空港
 お問い合わせは、西日本お客さまセンター
 フリーダイヤル 0120-924-863
 上記番号をご利用にならないお客さまは
 06-6876-9031 (通話料有料)

24年 1月26日 9時11分

車種 普通

通行料金 ¥680-

※通行料金の消費税率は10%です

(現金)

—入口料金所— 熊本
 西日本高速道路株式会社
 大阪府大阪市北区堂島1-6-20
 登録番号: T3120001112941
 取扱番号203-01080857-00



領収書

印紙

324991

西原SS

TEL 096-279-2822

東光石油株式会社

熊本県阿蘇郡西原村大字布田1000-5

TEL 096-279-2822

登録番号 T2330001003149

売上

2024年 1月26日

17:53

上

様手

現金フリ- 00-324991-90001-0001-9

レギュラー

12.42L

@170.0

P- 7(内)

2111円

01200.00

合計

2,111円

(内、消費税等(10.00%)

192円)

(内、P支払可能金額

2,111円)

預り金

4,870円

釣銭

2,759円

楽天ポイント会員 :XXXXXXXXXX9452

取引コード:324991240126174954026403

基本ポイント

6P

利用可能ポイント

10244P

楽天ポイントカードのキャンペーン
 情報をアプリで郵信中
 期間限定ポイントなど貯まったポイント
 も街のお買い物に使えて便利

ポイント残高の反映にはお時間をいただく
 場合があります。

伝No: 15206

担当:8800

※本出保管上のお願い

財布・手帳等にはさんで保管頂く場
 合は、印刷面を内側に折り保管をお
 願いいたします。

領収証

谷口 隆夫 様

No. _____

★

但

7 4000-

貸付スタンプ代金

6年1月26日 上記正に領収いたしました

内訳

税抜金額

消費税額

収 入

印 紙

アビカリ30-51T